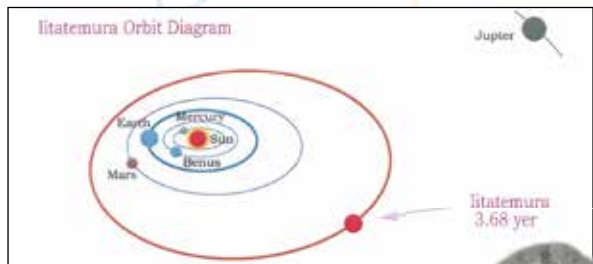


宇宙を旅する「いいたてむら」

田村市の「星の村天文台」で台長を務める大野裕明さんが7月19日、飯野出張所を来庁しました。

大野さんは、愛知県に住む天文仲間が発見した小惑星の命名権を譲り受け、この小惑星を「Iitatemura」（いいたてむら）と名付けて国際天文学連合に申請。7月9日に認定を受けて、その報告に訪れたものです。



▲小惑星Iitatemuraは、火星と木星の間の軌道を回ります



▲小惑星の模型。実際は磐梯山くらゐの大きさ

▲認定証を手にする大野さんと村長



★小惑星の命名について★

新しく発見された小惑星は、正確な軌道が算出されるまで観測が続けられます。軌道が確定すると仮の符号が付けられて、発見者に固有名義の命名優先権が与えられます。

7/6 たなばたかい



4歳児クラス・ちゅうりっぷぐみさんの合奏

草野・飯樋幼稚園で「たなばたかい」が開かれました。天井にゆるく張られた緑のネットに、色とりどりの笹飾りが揺れています。部屋の明かりを落としパネルシアターで七夕の物語を見る子どもたちの心は、すっかり星空にあるようでした。お話の後はクラスごとに歌や合奏、手遊びなどを発表。全園児でダンスも踊り、おやつには冷たいアイスを食べました。「さかあがりだが、できますように」「はし(箸)がじょうずになりますように」「たんざくの願い事が、かなうといいですね。」



表紙の写真 たなばたかい

笹飾りの下、星空に思いを馳せる子どもたちです。このページの関連記事もご覧ください。

朝陽に染まるアサガオ



松川第1応急仮設住宅の敷地フェンスとその周辺に植えられたアサガオ。住民が持ち寄ったタネを植え、北山初夫さん(飯樋町)、佐藤洋志さん(伊丹沢)、青木香一さん(大久保・外内)が育てています。「植えた場所は全部で150mくらいあるかな」と青木さん。(撮影日/7月24日)

編集後記

福島も梅雨明けしました。2年目の厳しい暑さがまた始まります。熱中症に注意したいですね。(み)
「今できる事からね」。大変な事もたくさんあるはずなのに、その笑顔の輝きに力をいただきます。(ほ)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。